

施設基準が定める掲示事項等

看護職員の負担の軽減及び処遇の改善に資する体制

看護職員の負担の軽減及び処遇の改善に関する責任者 加藤恵理子（職種：看護師）

看護職員の勤務状況の把握等

勤務時間 平均週39.7時間（うち、時間外労働 2.2時間）

2 交代の夜勤に係る配慮 ☒16時間未満となる夜勤時間の設定

3 交代の夜勤に係る配慮 ☒夜勤後の暦日の休日の確保

多職種からなる役割分担推進のための委員会又は会議 6回／年 平均15人／回

参加職種 医師、看護師、薬剤師、事務、放射線技師、臨床検査技師

看護職員の負担の軽減及び処遇の改善に資する体制

☒計画策定 ☒職員に対する計画の周知

看護職員の負担の軽減及び処遇の改善に資する具体的な取組内容

業務量の調整

☒時間外労働が発生しないような業務量の調整

看護職員と多職種との業務分担

☒薬剤師 ☒リハビリ職種（理学療法士、作業療法士、言語聴覚士）

☒臨床検査技師 ☒臨床工学技士

看護補助者の配置

☒主として事務的業務を行う看護補助者の配置

☒看護補助者の夜間配置

短時間正規雇用の看護職員の活用

☒短時間正規雇用の看護職員の活用

多様な勤務形態の導入

妊娠・子育て中、介護中の看護職員に対する配慮

☒夜勤の減免制度 ☒半日・時間単位休暇制度 ☒所定労働時間の短縮

夜勤負担の軽減

☒夜勤従事者の増員 ☒月の夜勤回数の上限設定

夜間における看護業務の負担軽減に資する業務管理等 交替勤務制の種別（3交代、2交代）

☒11時間以上の勤務間隔の確保

☒夜勤の連続回数が2連続（2回）まで

☒暦日の休日の確保

☒早出・遅出等の柔軟な勤務体制の工夫

☒夜間を含めた各部署の業務量の把握・調整するシステムの構築
（過去1年間のシステムの運用・部署間における業務標準化）

☒看護補助者の夜間配置

☒みなし看護補助者を除いた看護補助者比率5割以上

☒ICT、AI、IoT等の活用による業務負担軽減